

ワイヤレスポケット CCD スキャナ

MS910 / MS912(M)

ユーザーマニュアル



MS910



MS912(M)

改訂履歴

Version	発行日	改訂履歴
1.0	2013年12月19日	● 初版発行
1.1	2014年2月17日	● 「5.5. iOS キーボード設定 (iPhone/iPad など)」の「ダブルクリックキーボード」に「スキャンモードについての注意文」を追補。 ● 「5.9. トリガー操作設定」の「スキャンモード」に「ダブルクリックキーボードについての注意文」を追補。
2.0	2014年5月1日	● MS910 と統合

目次

1. パッケージ内容.....	1
2. スキャナ詳細	2
MS910 各部名称	2
MS912(M)各部名称.....	3
LED インジケータとビープ音	4
3. はじめに.....	5
バッテリーの充電	5
再接続.....	5
はじめて PC/ノートブックと接続するには.....	6
PC (HID モード)	6
PC (PIN コード無し HID モード)	7
PC (SPP モード)	8
はじめて iPhone/iPad などと接続するには	9
iOS 6 ~ iOS 7 (HID モード)	9
iOS 5 (HID モード)	9
はじめて Android と接続するには	10
Android 4.0 ~ Android 4.4.2 (HID モード)	10
Android 3.0 ~ Android 3.2 (HID モード)	11
Android 2.1 ~ Android 2.3.7 (SPP モード)	12
SPP マスターモードで接続するには	14
4. 仕様.....	15
5. 設定コマンド	18
設定方法について.....	18
5.1. システム設定.....	19
設定バーコードの読取	19
設定値の初期化.....	19
バージョン表示.....	19
5.2. 通信設定	20
通信プロファイル変更	20
通信切断	20
PIN コードを用いたペアリング	21
Simple Secure Pairing の使用	22

5.3. 電源設定	23
自動パワーオフ（省電力機能）	23
強制パワーオフ	23
5.4. キーボード設定	24
キーボードレイアウト変更（HID 接続時のみ）	24
Caps Lock モード	24
5.5. iOS キーボード設定（iPhone/iPad など）	25
ダブルクリックキーボード	25
トグルキーボード	25
5.6. メモリ操作設定（メモリ内蔵モデルのみ）	26
データ保存モード変更	26
データ送信（インベントリ操作のみ）	26
データ削除（インベントリ操作のみ）	27
5.7. データ送信設定	28
送信データフォーマットについて	28
コード ID の送信	28
データ桁数の送信	28
コード ID 一覧表	29
プリアンブル（プリフィックス）とポストアンブル（サフィックス）	30
ターミネータ	31
Windows 機能キーの使用	32
文字間遅延	32
ブロック間遅延	33
5.8. ビープ設定	34
ビープ音について	34
ビープの消音	34
読取成功ビープの音程変更（一部消音）	35
5.9. トリガー操作設定	36
スキャンモード	36
バーコード出力の正確性（冗長スキャン）	37
5.10. バーコード読取設定	38
バーコード設定初期値一覧表	38
全てのバーコードの読取り	40
白黒反転バーコードの読取り	40
Code39	41
Code39 の読取り	41
Code39 読取りフォーマット	41
Code39 スタート・ストップキャラクタの送信	41
Code39 チェックデジットの検査と送信	42
Code39 読取可能な最小桁数と最大桁数	42

Code128.....	43
Code128 の読取り.....	43
Code128 読取可能な最小桁数と最大桁数.....	43
GS1-128.....	44
GS1-128 の読取り.....	44
GS1-128 先頭 ID (JC1) の送信.....	44
GS1-128 FNC1 キャラクタの送信.....	45
GS1-128 FNC1 キャラクタの変更.....	45
UPC-E.....	46
UPC-E の読取り.....	46
UPC-E 先頭数字の送信.....	46
UPC-E チェックデジットの送信.....	46
UPC-E アドオンコードの読取り.....	47
UPC-E アドオン間スペースの追加.....	47
UPC-E アドオンコードの送信.....	48
UPC-E を UPC-A に拡張.....	48
UPC-A.....	49
UPC-A の読取り.....	49
UPC-A 先頭数字の送信.....	49
UPC-A チェックデジットの送信.....	49
UPC-A アドオンコードの読取り.....	50
UPC-A アドオン間スペースの追加.....	50
UPC-A アドオンコードの送信.....	51
UPC-A を JAN-13 に拡張.....	51
先頭 0 の JAN-13 を 13 桁で出力.....	51
JAN-8.....	52
JAN-8 の読取り.....	52
JAN-8 先頭数字の送信.....	52
JAN-8 チェックデジットの送信.....	52
JAN-8 アドオンコードの読取り.....	53
JAN-8 アドオン間スペースの追加.....	53
JAN-8 アドオンコードの送信.....	54
JAN-13.....	55
JAN-13 の読取り.....	55
JAN-13 先頭数字の送信.....	55
JAN-13 チェックデジットの送信.....	55
JAN-13 アドオンコードの読取り.....	56
JAN-13 アドオン間スペースの追加.....	56
JAN-13 アドオンコードの送信.....	57
ISBN の読取り.....	57
ISSN の読取り.....	57
Codabar (NW-7).....	58
Codabar (NW-7) の読取り.....	58
Codabar (NW-7) スタート・ストップキャラクタの送信.....	58
Codabar (NW-7) チェックデジットの検査と送信.....	59

Codabar (NW-7) 読取可能な最小桁数と最大桁数	59
Codabar (NW-7) スタート・ストップキャラクタの変更	60
Interleaved 2 of 5 (ITF)	61
Interleaved 2 of 5 (ITF) の読取り	61
Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジットの検査と送信	61
Interleaved 2 of 5 (ITF) 先頭または末尾削除	62
Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取可能な最小桁数と最大桁数	62
GS1 Databar	63
GS1 Databar の読取り	63
GS1 Databar チェックデジットの送信	63
GS1 Databar AI の送信	63
GS1 Databar Stacked の読取り	64
GS1 Databar Limited	65
GS1 Databar Limited の読取り	65
GS1 Databar Limited チェックデジットの送信	65
GS1 Databar Limited AI の送信	65
GS1 Databar Expanded	65
GS1 Databar Expanded の読取り	66
GS1 Databar Expanded Stacked の読取り	66
GS1 Databar Expanded 読取可能な最小桁数と最大桁数	67
6. フル ASCII テーブル	68
制御コード	68
アルファベット (大文字)	69
アルファベット (小文字)	70
数字	71
記号	72
Windows 機能キー	73
7. テストバーコード	75

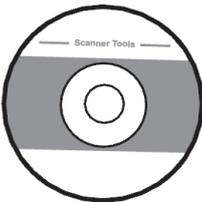
1. パッケージ内容

MS910/MS912(M)の製品箱には以下の内容物が入っています。もしも内容物の不足や破損を見つけた場合は、ご購入いただいた販売店へご連絡ください。

MS910

		
スキャナ本体	クイック接続ガイド	リソース CD
		
USB 充電ケーブル	ストラップ	

MS912(M)

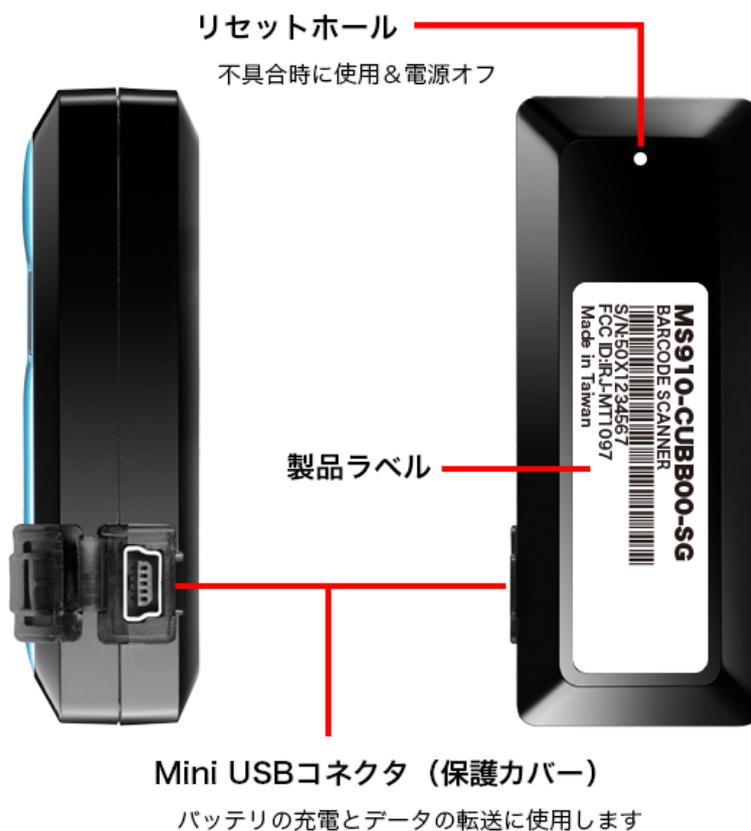
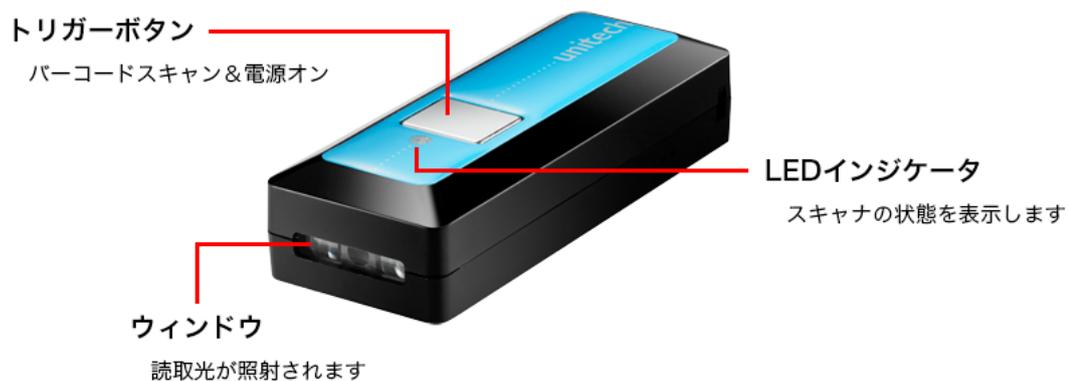
		
スキャナ本体	クイック接続ガイド	リソース CD
		
USB 充電ケーブル	ストラップ	

注 本器はアイドル状態で3分間経過すると自動的に電源がオフになります。

注 はじめてこのスキャナを使用するときは少なくとも1時間以上充電してください。

2. スキャナ詳細

MS910 各部名称



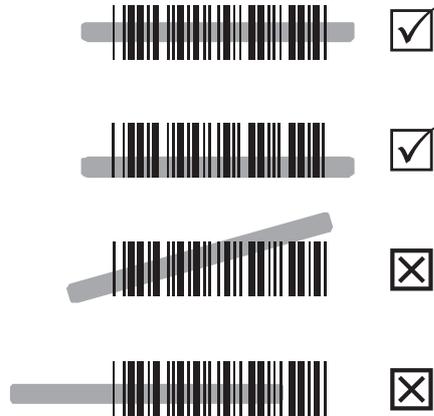
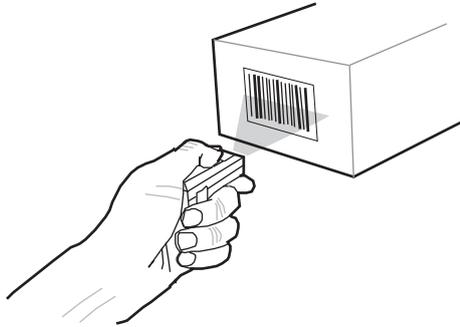
MS912(M)各部名称



LED インジケータとビープ音

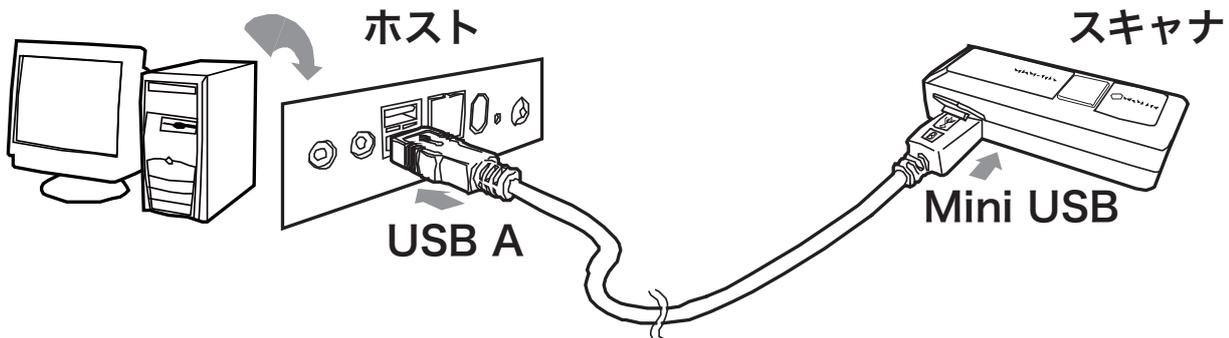
	緑 LED	赤 LED	ビープ音
電源オン	—	—	ピー
電源オフまたは、 スタンバイ（読取可能）	—	—	—
他機器より検出可能	連続的に点滅	—	—
Bluetooth 通信切断	連続的に点滅	—	ピッピッピッ
Bluetooth 通信接続	2 回点滅	—	ピッピッ
適切な接続がなく、 バーコード読取	連続的に点滅	—	ピピピ
適切な接続があり、 バーコード読取	1 回点滅	—	ピッ
適切な接続があり、 バーコード読取失敗	—	—	ピッポッピッポッ (高-低-高-低)
PIN コード入力終了せずに バーコード読取	2 回点滅	—	ピピピピピピ
充電中	—	点灯	—
充電完了	—	—	—
バッテリー残量低下	—	点滅	ピッピッピッ ピッピッ
バッテリー残量低下による 電源オフ	—	—	ピー---
設定バーコード読取	—	—	ピピ

3. はじめに



バーコードを読取るには、照準用の赤いビームがバーコードのすべてのバーとスペースをまたぐようにしてください。

バッテリーの充電



1. スキャナの Mini USB コネクタ保護カバーをめくってください。
2. スキャナの Mini USB コネクタとホスト PC の USB コネクタを付属の USB 充電ケーブルで接続してください。

再接続

ホストの Bluetooth がオンのときにスキャナの電源をオンにするとペアリング情報を元に再接続を行います。スキャナの電源がオンになるとピーという音が鳴り、暫く緑 LED が点滅します。その後暫くするとピッピッと音が鳴り、緑 LED が消灯して使用が可能になります。いつまで経っても緑 LED が点滅し続ける場合は、ホストの再起動を行い、スキャナも電源オフ/オンしてください。

はじめて PC/ノートブックと接続するには

PC (HID モード)

以下の接続方法は Microsoft Windows 7 標準ドライバをベースにしています。

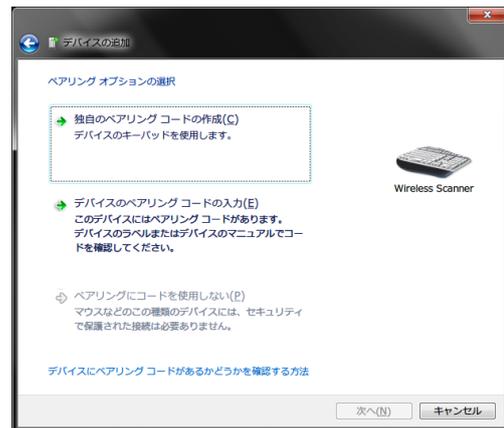
後付けの Bluetooth アダプタをご利用いただく場合、ドライバによって表示や表記が異なる場合がありますのでご注意ください。

通常はこちらの接続方法を使用してください。

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. 「スタートボタン>デバイスとプリンター」の順にクリックして**デバイスとプリンター画面**を表示してください。
5. **デバイスの追加**をクリックしてください。
6. 登録したいスキャナ (**Wireless Scanner**) をクリックしてから、**次へ**をクリックしてください。登録したいスキャナが表示されない場合は、スキャナの電源がオンになっているか周囲から発見できるようになっているか確認してください。電源をオンにしたばかりの場合は、Windows がスキャナを発見するまでしばらく時間がかかります。



7. ペアリングオプションの選択が表示されたら**独自のペアリングコードの作成**をクリックしてください。ペアリングオプションが表示されずに PIN コード（ペアリングコード）が表示された場合は、この手順はスキップしてください。



8. PIN コードが画面に表示されますので、**PIN コードを用いたペアリングの項目**を参考に接続してください。PIN コードが表示されてから 30 秒以内で入力を完了する必要があります。



9. PIN コードの入力が 30 秒以内に完了しなかった場合や、PIN コードを間違えて入力してしまった場合は、スキャナで「ペアリング終了」バーコードを読み取り、手順 5 から再開してください。

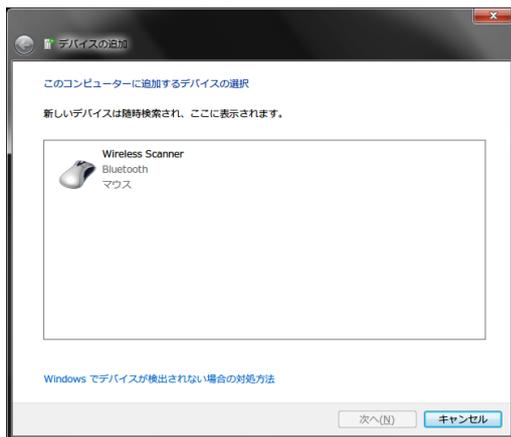
9. 接続が完了しますとスキャナがピッピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。

PC (PIN コード無し HID モード)

以下の接続方法は Microsoft Windows 7 標準ドライバをベースにしています。

後付けの Bluetooth アダプタをご利用いただく場合、ドライバによって表示や表記が異なる場合がありますのでご注意ください。

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID (PIN コード無し)」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. 「スタートボタン > デバイスとプリンター」の順にクリックして**デバイスとプリンター**画面を表示してください。
5. **デバイスの追加**をクリックしてください。
6. 登録したいスキャナ (**Wireless Scanner**) をクリックしてから、**次へ**をクリックしてください。登録したいスキャナが表示されない場合は、スキャナの電源がオンになっていて周囲から発見できるようになっているか確認してください。電源をオンにしたばかりの場合は、Windows がスキャナを発見するまでしばらく時間がかかります。



7. ペアリングオプションの選択が表示されたら**ペアリングにコードを使用しない**をクリックしてください。ペアリングオプションが表示されない場合は、この手順はスキップしてください。



8. 接続が完了しますとスキャナがピッピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。接

PC (SPP モード)

以下の接続方法は Microsoft Windows 7 標準ドライバをベースにしています。

後付けの Bluetooth アダプタをご利用いただく場合、ドライバによって表示や表記が異なる場合がありますのでご注意ください

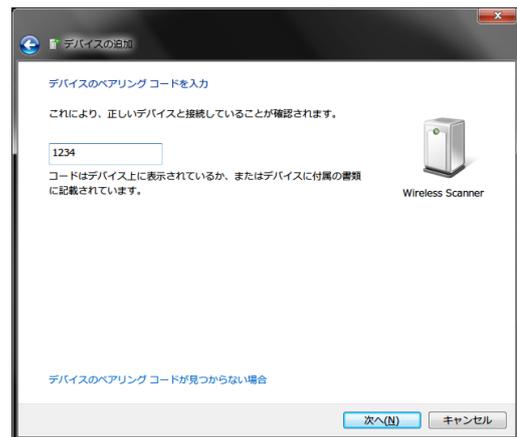
1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「SPP」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. 「スタートボタン > デバイスとプリンター」の順にクリックして**デバイスとプリンター**画面を表示してください。
5. **デバイスの追加**をクリックしてください。
6. PC に登録したいスキャナ (**Wireless Scanner**) をクリックしてから、**次へ**をクリックしてください。登録したいスキャナが表示されない場合は、スキャナの電源がオンになっていて周囲から発見できるようになっているか確認してください。電源をオンにしたばかりの場合は、Windows がスキャナを発見するまでしばらく時間がかかります。



7. ペ어링オプションの選択が表示されたら**デバイスのペ어링コードの入力**をクリックしてください。ペ어링オプションが表示されない場合は、この手順はスキップしてください。



8. テキストボックスに PIN コード（ペ어링コード）を入力して**次へ**をクリックしてください。PIN コードは「**1234**」です。



SPP モードでデータを受信する場合は、COM ポートを制御できるアプリケーションを使用してください。発信ポートをオープンすれば接続が完了します。

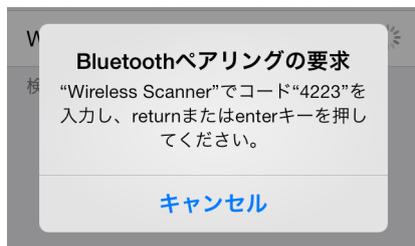
はじめて iPhone/iPad などと接続するには

iOS 6 ~ iOS 7 (HID モード)

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. ホームスクリーンから設定>Bluetooth の順にタッチしてください。
5. Bluetooth をオンにしてください。
6. **Wireles...**をタッチしてください。



7. PIN コードが画面に表示されますので、**PIN コードを用いたペアリングの項目**を参考に接続してください。PIN コードが表示されてから 30 秒以内で入力を完了する必要があります。



PIN コードの入力が 30 秒以内に完了しなかった場合や、PIN コードを間違えて入力してしまった場合は、スキャナで「ペアリング終了」バーコードを読み取り、手順 6 から再開してください。

8. 接続が完了しますとスキャナがピピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。

iOS 5 (HID モード)

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. ホームスクリーンから設定>一般>Bluetooth の順にタッチしてください。
5. Bluetooth をオンにしてください。
6. **Wireless Sc...**をタッチしてください。



7. PIN コードが画面に表示されますので、**PIN コードを用いたペアリングの項目**を参考に接続してください。PIN コードが表示されてから 30 秒以内で入力を完了する必要があります。



PIN コードの入力が 30 秒以内に完了しなかった場合や、PIN コードを間違えて入力してしまった場合は、スキャナで「ペアリング終了」バーコードを読み取り、手順 6 から再開してください。

8. 接続が完了しますとスキャナがピピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。

はじめて Android と接続するには

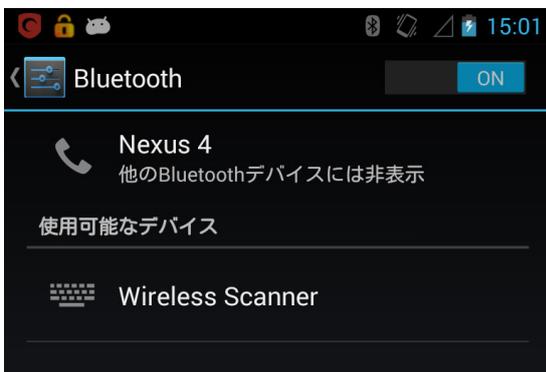
Android 4.0 ～ Android 4.4.2 (HID モード)

Android デバイスは、OS のバージョンや機器の種類によって画面の表示や表記が異なる場合があります。表示が異なる場合は、登録に使用する Android デバイスの取扱説明書をご覧ください。

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. Android デバイスの設定>無線とネットワーク >Bluetooth を表示してください。



5. Bluetooth をオンにしてください。
6. Wireless Scanner をタッチしてください。



7. PIN コードが画面に表示されますので、PIN コードを用いたペアリングの項目を参考に接続してください。PIN コードが表示されてから 30 秒以内で入力を完了する必要があります。



PIN コードの入力が 30 秒以内に完了しなかった場合や、PIN コードを間違えて入力してしまった場合は、スキャナで「ペアリング終了」バーコードを読み取り、手順 6 から再開してください。

8. 接続が完了しますとスキャナがピッピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。

Android 3.0 ~ Android 3.2 (HID モード)

Android デバイスは、OS のバージョンや機器の種類によって画面の表示や表記が異なる場合があります。表示が異なる場合は、登録に使用する Android デバイスの取扱説明書をご覧ください。

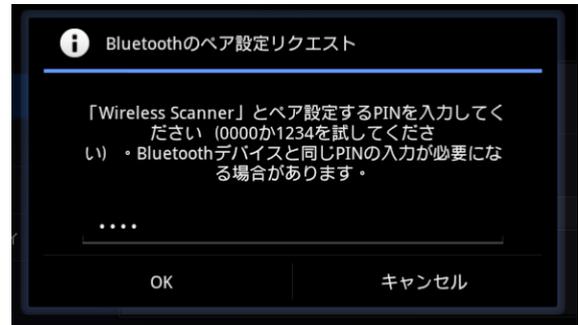
1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「HID」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Pairing 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. Android デバイスの設定 > 無線とネットワーク > Bluetooth 設定を表示してください。



5. Bluetooth をオンにしてください。
6. Wireless Scanner をタッチしてください



7. PIN コードが画面に表示されますので、PIN コードを用いたペアリングの項目を参考に接続してください。PIN コードが表示されてから 30 秒以内で入力を完了する必要があります。



PIN コードの入力が 30 秒以内に完了しなかった場合や、PIN コードを間違えて入力してしまった場合は、スキャナで「ペアリング終了」バーコードを読み取り、手順 6 から再開してください。

8. 接続が完了しますとスキャナがピッピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。

Android 2.1 ~ Android 2.3.7 (SPP モード)

Android デバイスは、OS のバージョンや機器の種類によって画面の表示や表記が異なる場合があります。表示が異なる場合は、登録に使用する Android デバイスの取扱説明書をご覧ください。

1. Android デバイスの設定>アプリケーションを表示してください。
2. 提供元不明のアプリにチェックをいれて有効化してください。



3. SPP 接続用のアプリ (BluetoothConnect) を次の URL からダウンロードし、Android デバイ스에インストールしてください。

[http://www.unitech-](http://www.unitech-japan.co.jp/BT/BluetoothConnect.apk)

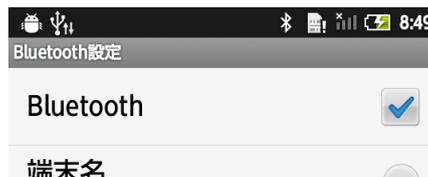
[japan.co.jp/BT/BluetoothConnect.apk](http://www.unitech-japan.co.jp/BT/BluetoothConnect.apk)

4. Android デバイスの設定>言語とキーボードを表示してください。
5. BluetoothConnect にチェックを入れて有効化してください。



6. Android デバイスの設定>無線とネットワーク>Bluetooth 設定を表示してください。

7. Bluetooth にチェックをいれて有効化してください。



8. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。

9. スキャナで「SPP」バーコードをスキャンしてください。

10. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。

11. スキャナの LED が待ち受け状態 (緑点滅) になっていることを確認してから、Android デバイスの Bluetooth 設定画面でデバイスのスキャンを行ってください。

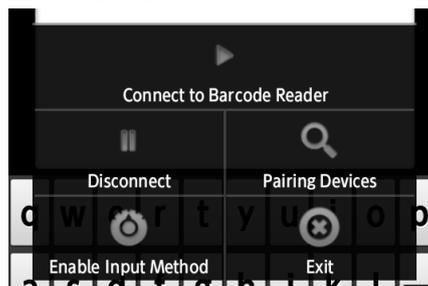
12. ペア設定リクエスト画面でテキストボックスに PIN コードを入力して OK をタッチしてください。PIN コードは「1234」です。



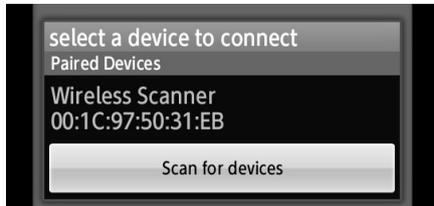
13. Android デバイスにインストールしている BluetoothConnect を実行してください。

14. BluetoothConnect 画面で Android デバイスのメニューボタンを押してください。

15. 画面下部にメニューが表示されますので Connect to Barcode Reader をタッチしてください。

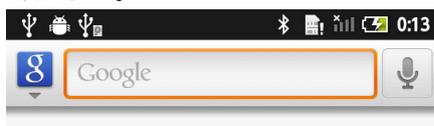


16. **select a device to connect** メニューが表示されます。
17. スキャナのLEDが待ち受け状態（緑点滅）になっていることを確認してから、Paired Devicesの項目に表示されている **Wireless Scanner** をタッチしてください。



Paired Devices の項目に **Wireless Scanner** が無い場合や **No devices have been paired** と表示されている場合は、Android デバイスの電源をオフ/オンして手順6から再開してください。

18. **ペア設定リクエスト**画面でテキストボックスにPINコードを入力してOKをタッチしてください。PINコードは「1234」です。ペア設定リクエストが表示されない場合は、この手順をスキップしてください。
19. 接続が完了しますとスキャナがピッピッと鳴ります。システムビープが無効になっている場合、音は鳴りませんのでご注意ください。
20. Googleの検索窓やメール本文などの文字入力可能なテキストボックスをロングタッチしてください。



21. **テキストを編集**メニューが表示されます。テキストボックスのロングタッチを続けても**テキストを編集**メニューが表示されない場合は、別のアプリのテキストボックスでロングタッチを行ってみてください。



22. テキストを編集メニューに表示されている**入力方法**をタッチしてください。

23. **入力方法の選択**メニューが表示されます。
24. 入力方法の選択メニューに表示されている **BluetoothConnect** をタッチしてください。 **BluetoothConnect** が表示されていない場合は手順4-5を行った後に手順20から再開してください。



SPP マスターモードで接続するには

SPP マスターモードは、接続先機器の Bluetooth MAC アドレスを指定して接続するために使用します。Bluetooth 検索機能を持たない機器などに接続する場合に有効です。

SPP マスターモードは、バージョンが SM3-c-1.04.BTA の MS910 ではご使用いただけません。

1. スキャナで「通信切断」バーコードをスキャンしてください。
2. スキャナで「SPP」バーコードをスキャンしてください。
3. スキャナで Simple Secure Paring 「無効」バーコードをスキャンしてください。
4. 接続先機器の Bluetooth MAC アドレスを確認してください。
5. Bluetooth MAC アドレスの先頭に **LTB** を付加した、**Code39 (チェックデジット無し)** のバーコードを作成してください。

LTB0009DD400832



Bluetooth MAC アドレスが
「00:09:DD:40:08:32」なら、
「LTB0009DD400832」となります。

作成するバーコードは 60mm～70mm 程度で作成してください。

6. 接続先機器にあらかじめ PIN コードを指定しておける場合は「**1234**」を指定してください。指定できない場合はこの手順をスキップしてください。
7. 手順5で作成したバーコードをスキャナでスキャンしてください。

8. 接続先の機器にあらかじめ PIN コードを指定している場合は、ペアリングが完了します。接続許可や PIN コードが必要な場合は接続先機器の指示に従って作業を行ってください。PIN コードは「**1234**」です。

4. 仕様

光学系と性能

	MS910	MS912(M)		
光学系と性能	CCD モジュール			
光源	可視赤色 LED 625 nm			
最大分解能	5 mil (0.127 mm)			
スキャン速度	240 スキャン/秒			
PCS	30 % 最小			
センサー	リニア CMOS			
耐外光	10,000 Lux (蛍光灯)			
読取り距離 (DOF PCS=100%)	シンボル	密度	近	遠
	Code 39	5 mils	15 mm	60 mm
	Code 39	13 mils	30 mm	140 mm
	Code 39	20 mils	35 mm	185 mm
※ 距離はバーコードの幅によります				

機能

	MS910	MS912(M)
シンボル	JAN/EAN/UPC、Code 39、Code 128、GS1-128、Interleaved 2of 5 (ITF)、Matrix 2of 5、Industrial 2 of 5、Standard 2 of 5、Codabar (NW-7)、Code 93、Code 32、Code 11、MSI、Plessey、Telepen、China Postal Code、GS1 Databar シリーズ	
動作モード	トリガモード (標準モード)、点滅モード、連続モード、1 プレス 1 スキャンモード	
設定方法	設定用バーコード	

電源

	MS910	MS912(M)
動作電圧	3.7 V DC ± 5%	
消費電流	動作モード：150 mA スタンバイ：65 mA	
バッテリータイプ	充電可能なりチウムイオンバッテリー（取外し不可）	
バッテリー容量	350 mAh	
動作時間	1回の完全充電で5,000 スキャン	

メモリ

	MS910	MS912(M)
メモリ容量	—	2MB（20,000 バーコード） *MS912Mのみ

外観

	MS910	MS912(M)
ケース材質	ABS	
スキャナ寸法	高 18 X 幅 24 X 長 65 mm	高 20 X 幅 30 X 長 72 mm
スキャナ重量	24.6 g	30.2 g

環境条件

	MS910	MS912(M)
ESD 保護	4K コンタクトおよび 8K エア、テスト後正常動作	
落下テスト	1.5m からコンクリート床	
動作温度範囲	0°C から 50°C	
保存温度範囲	-20°C から 60°C	
相対湿度	20 から 85% 結露無いこと	

通信

	MS910	MS912(M)
無線周波数	2.4 GHz、免許不要	
Bluetooth 性能	Bluetooth v2.1+EDR Class2	
通信距離	Class2 理論値最大 10m (見通し距離)	
対応プロファイル	HID、SPP	
ホストインターフェース	Mini USB	

認証

	MS910	MS912(M)
認証	CE、FCC、Class B、TELEC	

アクセサリ

	MS910	MS912(M)
アクセサリ	ストラップ、Mini USB-USB ケーブル	

5. 設定コマンド

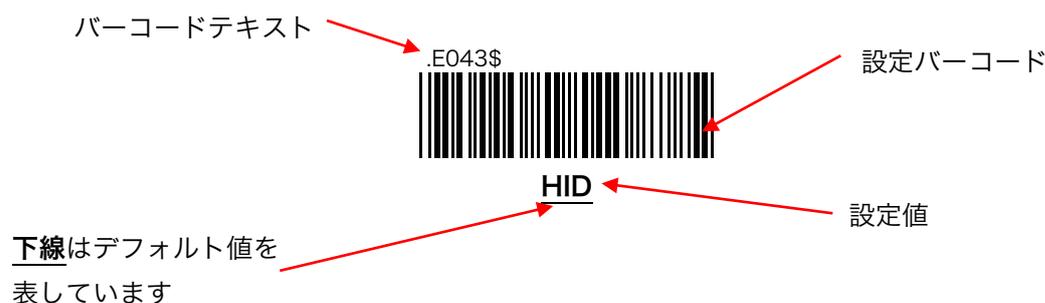
設定方法について

MS910/MS912(M)は、専用の設定バーコードを読み込ませることで設定の変更を行います。変更された設定は不揮発性メモリに保存され、スキャナの電源を切っても設定は保持されます。

スキャナの設定を変更するには、ターゲットの設定バーコードを読み込ませてください。

多くのコンピュータモニタでは、モニタ上に表示させたバーコードを直接読取ることができます。モニタ上に表示されたバーコードを読取るためには、バーコードがはっきりと見えるように拡大してから読取ってください。拡大率などはモニタの仕様によります。

設定バーコードの仕様については、次の例図をご参照ください



5.1. システム設定

設定バーコードの読取

設定バーコードによるパラメータ変更を無効にすることができます。この設定が「無効」の場合、設定バーコードを読取ると通常の Code39 バーコードとして処理されます。



設定値の初期化

スキャナのバーコード設定を初期化します。Bluetooth の接続設定は初期化されません。



バージョン表示

スキャナのバージョン情報をホストに表示します。このコマンドを使用する場合、スキャナとホストが正常に接続されていて、ホストでテキスト入力可能なアプリケーションが実行されている必要があります。



5.2. 通信設定

通信プロファイル変更

スキャナは2種類の Bluetooth 通信プロファイルをサポートしています。

HID — 標準の接続方法です。特別なアプリケーションを必要とせず、HID キーボードとして動作します。通常はこちらをご使用ください。

SPP — ホストに仮想シリアルポートを作成して接続する方法です。シリアルポートを使用するためのアプリケーションが必要です。iOS デバイスとの接続には使用できません。

HID (PIN コード無し) — 特別なアプリケーションを必要とせず、HID マウスとして動作します。Windows OS でのみ使用可能で、PIN コードの入力を必要としません。



HID



SPP



HID (PIN コード無し)

通信切断

ホストとのペアリングを解除して切断します。機種によってはホストにペアリング情報が残ったままになりますので、別途ご確認ください。ホストのペアリング情報の削除方法は、ホストのお取扱説明書をご確認ください。



通信切断

PIN コードを用いたペアリング

HID 接続の場合は、ホストの画面に表示される PIN コードを用いて接続を行います。

1. スキャナで「ペアリング開始」をスキャンしてください。
2. ホストに表示されている PIN コード（複数桁の数字）を入力してください。スキャナで PIN コードを入力するには、「数字バーコード」を1桁ずつスキャンしてください。
3. スキャナで「Enter（入力終了）」をスキャンしてください。
4. 接続が完了するとスキャナからピッピッと音が鳴ります。
5. スキャナで「ペアリング終了」をスキャンしてください。

注 何度やってもペアリングが正常に終了しない場合は、スキャナの電源オフ/オン後、異なる[通信プロファイル](#)に変更してから元に戻してみてください。



ペアリング開始



1



2



3



4



5



6



7



8



9



0



Enter（入力終了）



ペアリング終了

Simple Secure Pairing の使用

Bluetooth V2.1 以降で使用可能な Simple Secure Pairing の使用を設定することができます。Simple Secure Pairing を「有効」にすると、ペアリング時に必要な PIN コード（ペアコード）の入力を省略できます。

注 本機能は、バージョンが SM3-c-1.04.BTA の MS910 ではご使用いただけません。

注 接続できなくなる機種も多数存在するため、Simple Secure Pairing は「無効」でご使用いただくことを強くお勧めいたします。

注 [設定値の初期化](#)（19 ページ）では Simple Secure Pairing の設定は変更されません。



無効



有効

5.3. 電源設定

自動パワーオフ（省電力機能）

スキャナは無操作が続いた場合自動的に電源をオフにします。この設定では、何分間無操作が続くと電源をオフにするか変更できます。

注 USB から電源が供給されているとき（充電中など）は、省電力機能は無効になります。



強制パワーオフ

このバーコードを読取ると、スキャナの電源を即座にオフすることができます。

注 本機能は、MS910 ではご使用いただけません。



5.4. キーボード設定

キーボードレイアウト変更 (HID 接続時のみ)

ホストのキーボードレイアウトに合わせて変更してください。ホストのキーボードレイアウトとスキャナのキーボードレイアウトが異なると、記号など一部の文字が正常に表示されません。例えば、iPhone や iPad は日本語 OS でも英語キーボードを使用します。



日本語キーボード



英語キーボード

Caps Lock モード

スキャナの Caps Lock の状態を変更します。大文字と小文字の出力を変更したい場合に使用します。

Caps Lock フリー — ホストの Caps Lock 状態を検知して正確なデータを出力します。

Caps Lock オフ — Caps Lock オフ状態で出力します。

Caps Lock オン — Caps Lock オン状態で出力します。



Caps Lock フリー



Caps Lock オフ



Caps Lock オン

5.5. iOS キーボード設定 (iPhone/iPad など)

iOS デバイス (iPhone/iPad/iPad mini など) は、iOS の制限のため本機を接続すると標準のオンスクリーンキーボードが表示されなくなってしまう。日本語入力や英語入力を切替えるため以下のコマンドを使用してオンスクリーンキーボードを表示させてください。

ダブルクリックキーボード

この設定を「有効」に変更すると、スキャナのトリガーボタンをダブルクリックするたびに iOS デバイスのオンスクリーンキーボードの表示／非表示を切替えることができます。キーボードが非表示の場合は表示され、キーボードが表示されているときは非表示になります。

注 本機能は、バージョンが SM3-c-1.04.BTA の MS910 ではご使用いただけません。

注 本機能は、ホーム画面などのオンスクリーンキーボードが表示されない画面では使用できません。

注 本機能は、スキャンモードがトリガー以外の場合使用できません。スキャンモードをトリガー以外に変更し、キーボードの表示/非表示を行いたい場合は、[トグルキーボード](#) (25 ページ) をご使用ください。スキャンモードについては [5.9 トリガー操作設定のスキャンモード](#) (36 ページ) をご覧ください。



有効



無効

トグルキーボード

次のバーコードを読取るたびに iOS デバイスのオンスクリーンキーボードの表示／非表示を切替えることができます。キーボードが非表示の場合は表示され、キーボードが表示されているときは非表示になります。

注 本機能はホーム画面などのオンスクリーンキーボードが表示されない画面では使用できません。



キーボード表示/非表示

5.6. メモリ操作設定（メモリ内蔵モデルのみ）

データ保存モード変更

MS912M は 2 種類のメモリ保存モードをサポートしています。

インベントリ — メモリへの保存のみを行い、リアルタイム通信を停止します。データ送信バーコードを使用して任意のタイミングでホストへデータを転送します。転送後のデータ削除は行われません。

自動バッチ — ホストとの通信中はリアルタイム通信を行い、ホストとの通信が切れるとメモリへのデータ保存を行います。保存されたデータはホストとの通信復帰時に自動的にホストへ一括で転送され、メモリ内のデータも削除されます。



インベントリ



自動バッチ

データ送信（インベントリ操作のみ）

インベントリ操作で保存したメモリ内のデータをホストへ送信します。



データ送信

データ削除（インベントリ操作のみ）

インベントリ操作で保存したメモリ内のデータを削除することができます。

全てのデータを削除 — 全てのインベントリデータを削除します。

直前のインベントリデータ削除 — 最後に保存されたインベントリデータを1件削除します。



全てのデータを削除



直前のインベントリデータ削除

USB ケーブルを使用したデータ送信や、データの保存フォーマットを変更したい場合などは、「MS912M_メモリ機能設定ガイド_Vx.x」を別途ご確認ください。

5.7. データ送信設定

送信データフォーマットについて

スキャナで読取ったバーコードデータは次のフォーマットでホストに送信されます。ターミネータは標準で「Enter」が設定されています。

{プリアンブル} {コード ID} {桁数} [バーコードデータ] {ポストアンブル} [ターミネータ]

- [] — 初期設定では出力されません。出力するには設定が必要です。
- [] — 初期設定で出力されます。ターミネータは「なし」にすることができます。

コード ID の送信

スキャナは、サポートしているバーコードシンボルに対して、あらかじめ決められたコード ID を持っています。バーコードの種類を調べたいときなどに使用してください。



送信しない



送信する

データ桁数の送信

スキャナは、読取ったバーコードデータの桁数を追加して送信することができます。



送信しない



送信する

コード ID 一覧表

バーコードシンボル	コード ID	バーコードシンボル	コード ID
EAN 128	T	MSI	O
Code 128	K	Code 32	B
EAN/JAN-8	S	Codabar (NW-7)	N
EAN/JAN-13	F	UK Plessey	P
UPC-E	E	Matrix 2 of 5	Y
UPC-A	A	Code 39 フル ASCII	D
Code 93	L	Code 39 標準 ASCII	M
Code 11	J	Interleaved 2 of 5 (ITF)	I
Telepen	U	GS1 Databar	G
IATA 2 of 5	R	GS1 Databar Limited	C
Industrial 2 of 5	V	GS1 Databar Expanded	Q
China Post Code	H		

プリアンブル（プリフィックス）とポストアンブル（サフィックス）

プリアンブルを設定するとバーコードデータの先頭に、ポストアンブルを設定するとバーコードデータの最後に、任意の制御文字・英数字・記号を追加することができます。追加することの出来る文字は最大で各 16 文字です。



プリアンブル/ポストアンブル クリア



プリアンブル



ポストアンブル

プリアンブルに「##」、ポストアンブルに「\$\$」と設定する場合は、次の手順で行います。

- ステップ 1: 「**プリアンブル/ポストアンブル クリア**」を読取ります。
- ステップ 2: 「**プリアンブル**」を読取ります。
- ステップ 3: [フル ASCII テーブル](#) (68～74 ページ) から「#」を 2 回読取ります。
- ステップ 4: 「**プリアンブル**」を読取ります。
- ステップ 5: 「**ポストアンブル**」を読取ります。
- ステップ 6: [フル ASCII テーブル](#) (68～74 ページ) から「\$」を 2 回読取ります。
- ステップ 7: 「**ポストアンブル**」を読取ります。

ターミネータ

ターミネータは、スキャナが出力するデータの最後に付加されるコマンドです。設定バーコード下部の設定値は「HID 接続時 / SPP 接続時」となっています。ターミネータの設定が「Enter / CR」の場合、HID 接続時には Enter が送信され、SPP 接続時には CR (0x0D) が送信されます。

注 HID 接続時の標準ターミネータは「Enter」です。

注 SPP 接続時の標準ターミネータは「CR+LF」です。



Windows 機能キーの使用

この設定を「無効」に変更すると、フル ASCII テーブル内の Windows 機能キー（73 ページ）が使用できなくなり、通常の Code39 バーコードとして処理されます。

注 PIN コード入力時に使用する Enter も動作しなくなりますので注意してください。



文字間遅延

文字間遅延は、1つの文字を送った後に次の文字を送るまでに待機する時間です。スキャナの送ったデータが正しくない場合や途中の文字が欠けてしまう場合は、文字間遅延を長めに設定すると解決することがあります。



ブロック間遅延

ブロック間遅延は、1つのバーコードデータを送った後に次のバーコードデータを送るまでに待機する時間です。ホストの処理速度がスキャナのスキャン速度より遅い場合は、ブロック間遅延を長めに設定するとデータの正確性を確保することができます。



5.8. ビープ設定

ビープ音について

スキャナのビープ音は、読取成功ビープとシステムビープの2種類があります。

読取成功ビープ — 通常バーコードの読取が成功しデータの送信が正常に行われたときのビープおよび、設定バーコードの読取りが成功し設定が正常に行われたときのビープ音。

システムビープ — 読取成功ビープ以外の全て。

ビープの消音

スキャナは、次の3種類のビープ消音（ビープ無効）をサポートしています。

注 本機能は、MS910 ではご使用いただけません。



読取成功有効 / システム有効



読取成功無効 / システム有効



読取成功無効 / システム無効

注 システムビープを無効に設定しているとき、電源オン・接続・切断・エラー・電池残量低下などの重要な音も消音されてしまいます。ご注意ください。

読取成功ビープの音程変更（一部消音）

ビープ音の音程を変更することができます。音のボリュームを変更することはできません。この設定では設定バーコード読取り時の音は含まれません。



5.9. トリガー操作設定

スキャンモード

スキャナは5種類のスキャンモードをサポートしています。

点滅 — スキャナがバーコードを認識すると連続モードになり、バーコードを認識せずに一定時間（MS910=60秒、MS912=3秒）が経過すると読取光が点滅を開始します。点滅モード時はトリガー操作が無効になります。

トリガー — 標準のスキャンモードです。トリガーを押している間は読取光が照射され、バーコードを読取るかトリガーを放すと読取光が停止します。

ワンプレスワンスキャン — トリガーを押した後、トリガーを放しても読取光が照射され続けます。バーコードを読取ると読取光が停止します。

連続 — 読取光が常に照射されます。連続モード時はトリガー操作が無効になります。

連続（自動オフ） — 読取光が常に照射され、バーコードを認識せずに60秒が経過すると読取光が停止します。読取光が停止しているときにトリガーを押すと読取光の照射が再開されます。

注 トリガー以外の設定では [5.5. iOS キーボード設定（iPhone/iPad など）のダブルクリックキーボード](#)（25 ページ）が使用できません。



バーコード出力の正確性（冗長スキャン）

スキャナは、より信頼性の高い正確なバーコード出力を行うことができます。設定には9段階あり、数字を大きくするほど信頼性が高まりますが、同時に読取りにかかる時間が長くなります。



設定する場合は次の手順で行います。

ステップ1: 「冗長スキャン」を読取ります。

ステップ2: 数字バーコードの「1」～「9」の何れかを読取ります。

ステップ3: 「冗長スキャン」を読取ります。



1



6



2



7



3



8



4



9



5



0

5.10. バーコード読取設定

バーコード設定初期値一覧表

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
Code39		
読取り	有効	41
フォーマット	フル ASCII フォーマット	41
スタート/ストップキャラクタ送信	送信しない	41
チェックデジット検査/送信	検査しない/送信しない	41
読取可能 最小桁数	1	42
読取可能 最大桁数	48	42
Code128		
読取り	有効	43
読取可能 最小桁数	5	43
読取可能 最大桁数	48	43
GS1-128		
読取り	有効	44
先頭 ID (JC1) 送信	送信しない	44
FNC1 キャラクタ送信	送信しない	45
UPC-E		
読取り	有効	46
先頭数字送信	送信する	46
チェックデジット送信	送信する	46
2 桁アドオンコード読取り	無効	47
5 桁アドオンコード読取り	無効	47
アドオン間スペース追加	追加しない	47
アドオンコード送信	あれば送信	47
UPC-E を UPC-A に拡張	拡張しない	48
UPC-A		
読取り	有効	49
先頭数字送信	送信する	49
チェックデジット送信	送信する	49
2 桁アドオンコード読取り	無効	49
5 桁アドオンコード読取り	無効	49
アドオン間スペース追加	追加しない	50
アドオンコード送信	あれば送信	51
UPC-A を JAN-13 に拡張	拡張しない	51

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
JAN-8		
読取り	有効	52
先頭数字送信	送信する	52
チェックデジット送信	送信する	52
2桁アドオンコード読取り	無効	52
5桁アドオンコード読取り	無効	52
アドオン間スペース追加	追加しない	53
アドオンコード送信	あれば送信	54
JAN-13		
読取り	有効	55
先頭数字送信	送信する	55
チェックデジット送信	送信する	55
2桁アドオンコード読取り	無効	55
5桁アドオンコード読取り	無効	55
アドオン間スペース追加	追加しない	56
アドオンコード送信	あれば送信	57
ISBN		
読取り	無効	57
ISSN		
読取り	無効	57
Codabar (NW-7)		
読取り	有効	58
スタート/ストップキャラクタ送信	送信する	58
スタート/ストップキャラクタ	ABCD/ABCD	60
チェックデジット検査/送信	検査しない/送信しない	59
読取可能 最小桁数	6	59
読取可能 最大桁	48	59
Interleaved 2 of 5 (ITF)		
読取り	有効	61
チェックデジット検査/送信	検査しない/送信しない	61
先頭/末尾削除	削除しない/削除しない	62
読取可能 最小桁数	6	62
読取可能 最大桁数	48	62
GS1 Databar		
読取り	無効	63
チェックデジット送信	送信しない	63
AI 送信	送信しない	63
Stacked 読取り	有効	63

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
GS1 Databar Limited		
読取り	無効	65
チェックデジット送信	送信しない	65
AI 送信	送信しない	65
GS1 Databar Expanded		
読取り	無効	66
Stacked 読取り	有効	66

全てのバーコードの読取り

全てのバーコードの読取を設定することができます。



白黒反転バーコードの読取り

白と黒が反転しているバーコードの読取りを設定することができます。

無効 — 標準のバーコードのみ読取ることができます。

有効 — 標準のバーコードと白黒反転バーコードの両方を読取ることができます。



Code39

Code39 の読取り

Code39 の読取りを設定することができます。



Code39 読取りフォーマット

Code39 の読取りフォーマットを設定することができます。フル ASCII フォーマットは、2つの文字の組み合わせで ASCII キャラクタを表現する特別なフォーマットです。



Code39 スタート・ストップキャラクタの送信

Code39 のスタート・ストップキャラクタの送信を設定することができます。Code39 のスタート・ストップキャラクタはデータ前後のアスタリスク (*) です。



Code39 チェックデジットの検査と送信

Code39 のチェックデジットの検査と送信を設定することができます。「**検査する**」設定に変更した場合、チェックデジットの無いバーコードを読取ることはできません。



Code39 読取可能な最小桁数と最大桁数

Code39 の読取可能な最少桁数と最大桁数を設定することができます。標準では、最少桁数が 1 桁、最大桁数が 48 桁です。



最少桁数と最大桁数を変更する場合は次の手順で行います。設定したい桁数が 1 桁の場合は、「0」「4」のように読取ってください。

- ステップ 1: 「**最小桁数**」を読取ります。
- ステップ 2: フル ASCII テーブルの[数字バーコード](#) (71 ページ) から 2 つ読取ります。
- ステップ 3: 「**最小桁数**」を読取ります。

Code128

Code128 の読取り

Code128 の読取りを設定することができます。



Code128 読取可能な最小桁数と最大桁数

Code128 の読取可能な最少桁数と最大桁数を設定することができます。標準では、最少桁数が 5 桁、最大桁数が 48 桁です。



最少桁数と最大桁数を変更する場合は次の手順で行います。設定したい桁数が 1 桁の場合は、「0」「4」のように読取ってください。

- ステップ 1: 「**最小桁数**」を読取ります。
- ステップ 2: フル ASCII テーブルの[数字バーコード](#) (71 ページ) から 2 つ読取ります。
- ステップ 3: 「**最小桁数**」を読取ります。

GS1-128

GS1-128 の読取り

GS1-128 の読取りを設定することができます。



GS1-128 先頭 ID (JC1) の送信

GS1-128 の先頭 ID を設定することができます。バーコードデータのみ必要な場合は、「送信しない」設定に変更してください。



GS1-128 FNC1 キャラクタの送信

GS1-128 の FNC1 の位置に特別な文字を送信することができます。標準では GS コード（グループセパレータ）が送信されます。これは HID 接続時と SPP 接続時で送信コードが異なるため注意が必要です。

注 HID 接続時は「Alt+0+2+9」が送信されます。

注 SPP 接続時は GS の制御コードである「0x29」が送信されます。



送信する



送信しない

GS1-128 FNC1 キャラクタの変更

FNC1 キャラクタを任意のキャラクタに変更することができます。この設定を反映させるには、[FNC1 キャラクタの送信](#)が「送信する」に設定されている必要があります。



FNC1 キャラクタ変更

FNC1 キャラクタを「#」に変更する場合は次の手順で行います。

ステップ 1: 「FNC1 キャラクタ変更」を読取ります。

ステップ 2: [フル ASCII テーブル](#) (68～74 ページ) から「#」を読取ります。

ステップ 3: 「FNC1 キャラクタ変更」を読取ります。

UPC-E

UPC-E の読取り

UPC-E の読取りを設定することができます。



UPC-E 先頭数字の送信

UPC-E の先頭数字の送信を設定することができます。



UPC-E チェックデジットの送信

UPC-E のチェックデジットの送信を設定することができます。



UPC-E アドオンコードの読取り

2桁または5桁のアドオンコードの読取りを設定することができます。



UPC-E アドオン間スペースの追加

UPC-E とそのアドオンコードの間にスペースを追加することができます。



UPC-E アドオンコードの送信

アドオンコードの送信を設定することができます。これらの設定は、「UPC-E アドオンコードの読取り」で2桁および5桁のアドオンコードの読取りが両方とも「無効」に設定されている場合は使用されません。



アドオンコードがあれば送信



アドオンコードが必要

UPC-E を UPC-A に拡張

UPC-E を UPC-A に変換して出力することができます。UPC-A を JAN13 に拡張の設定が「拡張する」に設定されている場合は JAN13 として出力します。



拡張しない



拡張する

UPC-A

UPC-A の読取り

UPC-A の読取りを設定することができます。



UPC-A 先頭数字の送信

UPC-A の先頭数字の送信を設定することができます。



UPC-A チェックデジットの送信

UPC-A のチェックデジットの送信を設定することができます。



UPC-A アドオンコードの読取り

2桁または5桁のアドオンコードの読取りを設定することができます。

.H036\$



2桁アドオンコード無効

.H035\$



2桁アドオンコード有効

.H034\$



5桁アドオンコード無効

.H033\$



5桁アドオンコード有効

UPC-A アドオン間スペースの追加

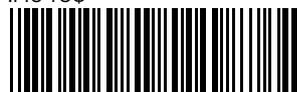
UPC-A とそのアドオンコードの間にスペースを追加することができます。

.H045\$



追加する

.H046\$



追加しない

UPC-A アドオンコードの送信

アドオンコードの送信を設定することができます。これらの設定は、「UPC-A アドオンコードの読取り」で2桁および5桁のアドオンコードの読取りが両方とも「無効」に設定されている場合は使用されません。



アドオンコードがあれば送信



アドオンコードが必要

UPC-A を JAN-13 に拡張

先頭0のJAN-13を13桁で出力

UPC-A を JAN-13 に変換して出力することができます。先頭が0のJAN-13を読み込んだときに先頭の0が削除されて12桁で出力されてしまう場合も、この設定を変更してください。



拡張しない



拡張する

JAN-8

JAN-8 の読取り

JAN-8 の読取りを設定することができます。



JAN-8 先頭数字の送信

JAN-8 の先頭数字の送信を設定することができます。



JAN-8 チェックデジットの送信

JAN-8 のチェックデジットの送信を設定することができます。



JAN-8 アドオンコードの読取り

2桁または5桁のアドオンコードの読取りを設定することができます。



JAN-8 アドオン間スペースの追加

JAN-8 とそのアドオンコードの間にスペースを追加することができます。



JAN-8 アドオンコードの送信

アドオンコードの送信を設定することができます。これらの設定は、「[JAN-8 アドオンコードの読取り](#)」で2桁および5桁のアドオンコードの読取りが両方とも「無効」に設定されている場合は使用されません。

.H061\$



アドオンコードがあれば送信

.H062\$



アドオンコードが必要

JAN-13

JAN-13 の読取り

JAN-13 の読取りを設定することができます。



JAN-13 先頭数字の送信

JAN-13 の先頭数字の送信を設定することができます。



JAN-13 チェックデジットの送信

JAN-13 のチェックデジットの送信を設定することができます。



JAN-13 アドオンコードの読取り

2桁または5桁のアドオンコードの読取りを設定することができます。



JAN-13 アドオン間スペースの追加

JAN-13 とそのアドオンコードの間にスペースを追加することができます。



JAN-13 アドオンコードの送信

アドオンコードの送信を設定することができます。これらの設定は、「[JAN-13 アドオンコードの読取り](#)」で2桁および5桁のアドオンコードの読取りが両方とも「無効」に設定されている場合は使用されません。



アドオンコードがあれば送信



アドオンコードが必要

ISBN の読取り

ISBN の読取りを設定することができます。この設定を「有効」に変更すると、978 から始まる JAN-13 を10桁の ISBN コードとして出力することができます。



無効



有効

ISSN の読取り

ISSN の読取りを設定することができます。この設定を「有効」に変更すると、977 から始まる JAN-13 を8桁の ISSN コードとして出力することができます。



無効



有効

Codabar (NW-7)

Codabar (NW-7) の読取り

Codabar (NW-7) の読取りを設定することができます。



無効



有効

Codabar (NW-7) スタート・ストップキャラクタの送信

Codabar (NW-7) のスタート・ストップキャラクタの送信を設定することができます。



送信しない



送信する

Codabar (NW-7) チェックデジットの検査と送信

Codabar (NW-7) のチェックデジットの検査と送信を設定することができます。「検査する」設定に変更した場合、チェックデジットの無いバーコードを読取ることはできません。



検査しない



検査し、送信する



検査し、送信しない

Codabar (NW-7) 読取可能な最小桁数と最大桁数

Codabar (NW-7) の読取可能な最少桁数と最大桁数を設定することができます。標準では、最少桁数が 6 桁、最大桁数が 48 桁です。



最小桁数



最大桁数

最少桁数と最大桁数を変更する場合は次の手順で行います。設定したい桁数が 1 桁の場合は、「0」「8」のように読取ってください。

- ステップ 1: 「**最小桁数**」を読取ります。
- ステップ 2: フル ASCII テーブルの[数字バーコード](#) (71 ページ) から 2 つ読取ります。
- ステップ 3: 「**最小桁数**」を読取ります。

Codabar (NW-7) スタート・ストップキャラクタの変更

Codabar (NW-7) のスタート・ストップキャラクタの出力文字を変更することができます。設定値は、「スタートキャラクタ/ストップキャラクタ」で表記されています。



Interleaved 2 of 5 (ITF)

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読取り

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読取りを設定することができます。



Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジットの検査と送信

Interleaved 2 of 5 (ITF) のチェックデジットの検査と送信を設定することができます。「検査する」設定に変更した場合、チェックデジットの無いバーコードを読取ることはできません。



Interleaved 2 of 5 (ITF) 先頭または末尾削除

Interleaved 2 of 5 (ITF) の先頭または末尾の数字を削除して出力することができます。



先頭削除



末尾削除



削除しない

Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取可能な最小桁数と最大桁数

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読取可能な最少桁数と最大桁数を設定することができます。標準では、最少桁数が 6 桁、最大桁数が 48 桁です。



最小桁数



最大桁数

最少桁数と最大桁数を変更する場合は次の手順で行います。設定したい桁数が 1 桁の場合は、「0」「8」のように読取ってください。

- ステップ 1: 「**最小桁数**」を読取ります。
- ステップ 2: フル ASCII テーブルの [数字バーコード](#) (71 ページ) から 2 つ読取ります。
- ステップ 3: 「**最小桁数**」を読取ります。

GS1 Databar

GS1 Databar の読取り

GS1 Databar の読取りを設定することができます。



無効



有効

GS1 Databar チェックデジットの送信

GS1 Databar のチェックデジットの送信を設定することができます。



送信する



送信しない

GS1 Databar AI の送信

GS1 Databar の AI の送信を設定することができます。



送信する



送信しない

GS1 Databar Stacked の読取り

GS1 Databar Stacked の読取りを設定することができます。Stacked を読取る場合は、最上段または最下段のバーコードに読取り光を当てて、読取り光を照射したまま上から下または下から上へなぞるように読取ってください。



GS1 Databar Limited

GS1 Databar Limited の読取り

GS1 Databar Limited の読取りを設定することができます。



無効



有効

GS1 Databar Limited チェックデジットの送信

GS1 Databar Limited のチェックデジットの送信を設定することができます。



送信する



送信しない

GS1 Databar Limited AI の送信

GS1 Databar Limited の AI の送信を設定することができます。



送信する



送信しない

GS1 Databar Expanded

GS1 Databar Expanded の読取り

GS1 Databar Expanded の読取りを設定することができます。



無効



有効

GS1 Databar Expanded Stacked の読取り

GS1 Databar Expanded Stacked の読取りを設定することができます。Stacked を読取る場合は、最上段または最下段のバーコードに読取り光を当てて、読取り光を照射したまま上から下または下から上へなぞるように読取ってください。



無効



有効

GS1 Databar Expanded 読取可能な最小桁数と最大桁数

GS1 Databar Expanded の読取可能な最少桁数と最大桁数を設定することができます。



最少桁数と最大桁数を変更する場合は次の手順で行います。設定したい桁数が1桁の場合は、「0」「8」のように読取ってください。

- ステップ 1: 「**最小桁数**」を読取ります。
- ステップ 2: フル ASCII テーブルの[数字バーコード](#) (71 ページ) から 2 つ読取ります。
- ステップ 3: 「**最小桁数**」を読取ります。

6. フル ASCII テーブル

制御コード

%U 	NUL	\$K 	VT	\$V 	SYN
\$A 	SOH	\$L 	FF	\$W 	ETB
\$B 	STX	\$M 	CR	\$X 	CAN
\$C 	ETX	\$N 	SO	\$Y 	EM
\$D 	EOT	\$O 	SI	\$Z 	SUB
\$E 	ENQ	\$P 	DLE	%A 	ESC
\$F 	ACK	\$Q 	DC1	%B 	FS
\$G 	BEL	\$R 	DC2	%C 	GS
\$H 	BS	\$S 	DC3	%D 	RS
\$I 	HT	\$T 	DC4	%E 	ES
\$J 	LF	\$U 	NAK	%T 	DEL

アルファベット (大文字)



A



M



Y



B



N



Z



C



O



D



P



E



Q



F



R



G



S



H



T



I



U



J



V



K



W



L



X

アルファベット (小文字)



a



m



y



b



n



z



c



o



d



p



e



q



f



r



g



s



h



t



i



u



j



v



k



w



l



x

数字



1



2



3



4



5



6



7



8



9



0

記号

	空白		,		\
	!		-	]
	“		.		^
	#		/		_
	\$		:		`
	%		;		{
	&		<		
	‘		=		}
	(	>		~
)		?		
	*		@		
	+		[

Windows 機能キー

\$TA		F1	\$TM		Home
\$TB		F2	\$TN		End
\$TC		F3	\$TO		→
\$TD		F4	\$TP		←
\$TE		F5	\$TQ		↑
\$TF		F6	\$TR		↓
\$TG		F7	\$TS		Page Up
\$TH		F8	\$TT		Page Down
\$TI		F9	\$TU		Tab
\$TJ		F10	\$TV		Back Tab
\$TK		F11	\$TW		Esc
\$TL		F12	\$TX		Enter

\$TY



Back Space

\$T+K



Win (左) Make

\$TZ



Insert

\$T+L



Win (左) Break

\$T%K



Delete

\$T+E



Alt (右) Make

\$T+D



Enter (テンキーパッド)

\$T+F



Alt (右) Break

\$T+O



アプリケーションキー

\$T+I



Shift (右) Make

\$T+J



Shift (右) Break

\$T%L



Alt (左) Make

\$T+G



Ctrl (右) Make

\$T%M



Alt (左) Break

\$T+H



Ctrl (右) Break

\$T%N



Shift (左) Make

\$T+M



Win (右) Make

\$T%O



Shift (左) Break

\$T+N



Win (右) Break

\$T%W



Ctrl (左) Make

\$T+A



Ctrl (左) Break

注 Make と Break は、Ctrl キーを押しながら S キーを押すようなコンビネーション操作に使用します。Ctrl (左) Make を読取った後に S を読取ると Ctrl(左)+S となります。この動作は対応した Break (この場合は Ctrl (左) Break) を読取るまで継続されます。

7. テストバーコード

Code 39



UNITECHE

Code 128



Unitech128

GS1-128



(01)1234567890128(17)131101(10)AB

UPC-A



047669137166

UPC-E



01234572

JAN-13



4912345678904

JAN-8



49123456

Codabar (NW-7)



22357000599877

Interleaved 2 of 5 (ITF)



12345678901231

GS1 Databar Stacked



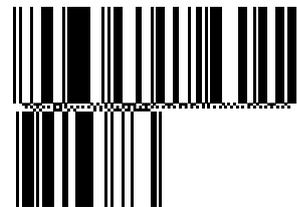
(01)98765432109879

GS1 Databar Limited



(01)13579246801350

GS1 Databar Expanded



(01)95012345678903(3103)000123